

# 「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～山都町立蘇陽中学校での実践～



【上益城教育事務所】

## 私の主張と親の主張、どちらも納得するには？ ～SNSの利用を通して～



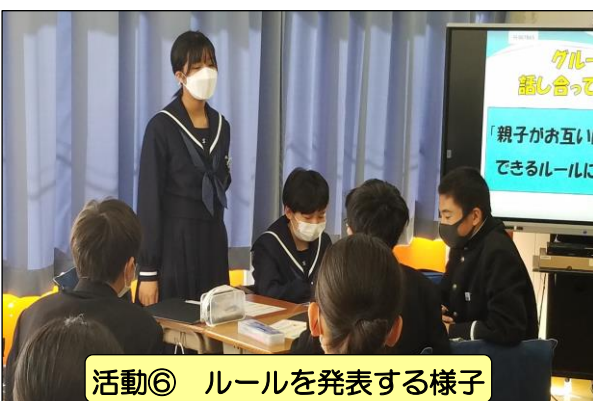
活動② サイコロトークの様子



活動③ YesNoクイズの様子



活動⑤ SNSの使用状況等の説明の様子



活動⑥ ルールを発表する様子

### 【講座の日程等】

日にち：令和3年10月29日（金）

場 所：山都町立蘇陽中学校

日 程：2～4校時（9：45～12：35）

各クラス50分ずつ実施

対 象：蘇陽中学校 第1・2・3学年（3学級）77名

進行役：上益城教育事務所 社会教育主事 本田博文

### 【講座の説明】

蘇陽中学校（第1学年から第3学年までの3学級）の情報モラル教育の一環として、「次世代編Ⅱ プログラム5：私の主張と親の主張、どちらも納得するには？～SNSの利用を通して～」を参考にした講座を実践した。

### 【プログラムの実際】

- ① 「親の学び」次世代編の説明
  - ・「くまもと家庭教育支援条例」の説明を含む。
- ② アイスブレイク
  - （SNSの使い方を意識するためのサイコロトーク）
  - ・トーク内容にプログラムに係る参加者の生活の実態や考えを含める。進行を円滑にするため。
- ③ メイン活動1（親の立場から子供のSNS使用を考えるYes・Noクイズ）
  - ・参加者が、考え方の多様性と新しい視点に触れる。
- ④ メイン活動2（親子の会話から解決策を考えるロールプレイ）
  - ・具体例に即して、課題解決の方法を模索する。
- ⑤ 説明
  - （SNSの長所と短所、同世代の使用状況を知る）
  - ・進行役から、現在の中学生のSNSの使用状況及び長所と短所を聞く。
- ⑥ メイン活動3（SNSの使い方の家庭のルールを考える）
  - ・自分が親（保護者等）になった時を想定してルールの内容や作成の仕方を考える。
- ⑦ まとめ（「アメリカのある家庭のルール」を知る）
  - ・参考となるルールの一例を知り、今後に生かす。

### 【実践校の感想】

（生徒）今まで、子供の立場でしか物事を考えていなかったが、親の立場で考えるという視点で学べてよかった。  
（生徒）親と話すと「何で理解してくれないのかな。」と思っていたが、親の立場で考えると難しく大変だと思った。これからは親の気持ちも考えて話し合いたい。  
（教師）親目線、子供目線でスマホの活用について、生徒と一緒に考えることができ、とても深い学びとなった。生徒も家庭でルールを考え直すよい機会となった。